

神奈川大学創立の祖・米田吉盛展

～創立者の足跡と神奈川大学の歩み～

本学では、創立者米田吉盛の命日である 5 月 17 日を「吉盛忌（きっせい忌）」と命名し、米田の遺徳を偲ぶとともに、創立の精神を永続的に受け継ぎ、建学の礎をゆるぎないものとするため、米田が眠る横浜市日野公園墓地にて偲ぶ会を執り行っています。

これを機に、「教育は人を造るにあり」の教育理念のもと、29 歳の若さで本学の前身である横浜学院を創立した米田の情熱や教育理念への理解を深め、本学学生として誇りを抱き、本学で学ぶことの意義をそれぞれに感じていただく機会となるよう、米田の生涯と本学の歩みをパネル資料でたどる展示「神奈川大学創立の祖・米田吉盛展 ～創立者の足跡と神奈川大学の歩み～」を企画いたしました。

米田は自然豊かな愛媛県内子町（論田地区）の出身。尋常小学校卒業後は京都の呉服屋で丁稚奉公、その後一時期台湾に渡って就業経験を重ね、後に学問を修めるために上京すると、新聞販売店に住み込みしながら勉学に励みました。

苦学力行により中央大学で学問を修めたのち、読書と思索を重ねるなかで「人生とは天分を開発して社会に貢献することにある」との思いを強くし、その実現のために「教育」への熱意を持ちました。そして、工業地帯の一角を占める大都市であって、世界に繋がる大貿易港を持ち、向学心ある勤労青年が集まる横浜を舞台に、多くの有力者の支援を受けて 1928（昭和 3）年に桜木会館（桜木町）に夜間部のみの学び舎として創設したのが「横浜学院」でした。

横浜学院創設後の米田の足跡や、横浜専門学校時代を経て神奈川大学となった本学のあゆみについては、本パネル展示を順にご覧いただければと思います。

学校法人神奈川大学